

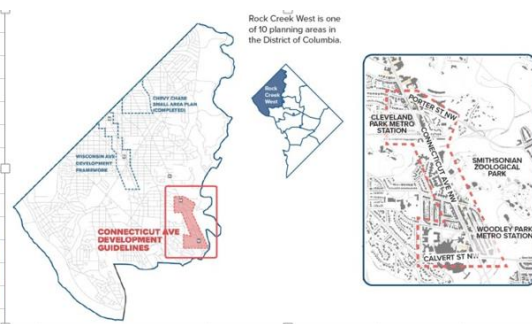
**GEO WEEK NEWS**

**3D Technology Newsletter**

## ワシントン D.C.で歴史地区に多くの住宅を建設案 [In Washington, DC, Planners Envision More Housing in Historic Districts](#)

手頃な価格の住宅を増やし、市内の 2 つの歴史的地区で商業地域を活性化しようとしている。ワシントン DC の人口は、1950 年代以降のどの時期よりも急速に増加しており、住みやすい街を維持するために、地区は成長と変化を導きながら、その遺産を保存する方法を検討している。

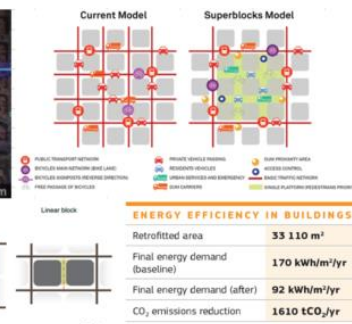
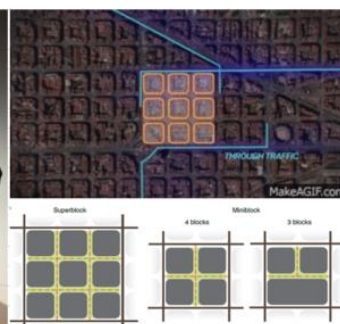
ArcGIS Urban を使用して、提案された変更によって近隣の性格がどのように変化するかをシミュレートしている。



## バルセロナの都市イノベーションスーパーブロック、持続可能なモビリティ、将来の GIS

### [Exploring Barcelona's Urban Innovations: Superblocks, Sustainable Mobility, and Future GIS Possibilities](#)

都市機能を人口特性分布により、ブロック化、さまざまな評価指数を導入して比較。



## NVIDIA とシーメンス連携

### [NVIDIA and Siemens announce deepened collaboration at GTC 2024](#)

NVIDIA が新たに発表した [Omniverse Cloud API](#) は、Xcelerator 没入型ビジュアルライゼーションを強化し、適用。生成 AI を使用してマテリアル定義やライティング環境などの詳細を調整できるため、エンジニアは現実世界の環境で設計を簡単かつ迅速にコンテキスト化できる。



**20周年記念 SPAR2024J**  
**第20回3次元計測フォーラム**  
5月7日(火), 8日(水) 大田区産業プラザ(PIO)



## 急速に進化する 3D ビジュアライゼーションの 6 つの事例

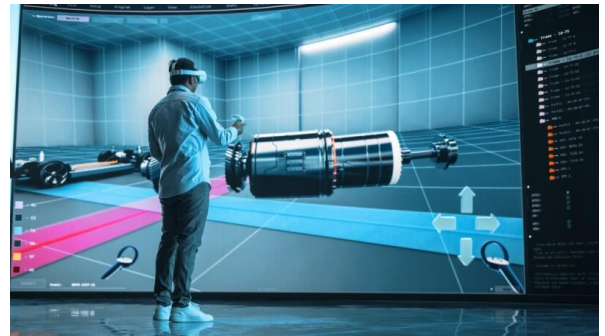
### Six Examples of a Rapidly Advancing 3D Visualization Ecosystem

近年、さまざまな形態の 3D ビジュアライゼーションが産業分野に登場し、設計ワークフローを大幅に改善し、リアルタイムのビジュアライゼーションなどにおいても、より重要なコンテキストを提供するようになってきた。3D 環境に、長時間没入するのは困難ではあるが、改善が進んできている。

「メタバース」という用語を含むものに対する主流の反応は懐疑的な見方で迎えられる可能性があります。産業界では、シーメンスや NVIDIA などの大手企業からの支援を受けて、このアイデアは大きく進展している

その他テーマだけ列記(訳者 原文参照);

- Apple Vision Pro やなどの VR ヘッドセットのエルゴノミクス
- NeRF と Gaussian Splat セッション
- DJI が新しい 3D モデル編集ソフトウェア「DJI Modify」
- Kelyn3D 複雑なデータの視覚化に 3D モニター



## NVIDIA とシーメンス連携

### NVIDIA and Siemens announce deepened collaboration at GTC 2024

NVIDIA が新たに発表した [Omniverse Cloud API](#) は、Xcelerator 没入型ビジュアライゼーションを強化し、適用。生成 AI を使用してマテリアル定義やライティング環境などの詳細を調整できるため、エンジニアは現実世界の環境で設計を簡単かつ迅速にコンテキスト化できる。



## 遺産保全、国際宇宙ステーション、サンゴ礁

### Around the 3D Technology Industry: Heritage Preservation, International Space Station, Coral Reefs

3D 業界に関する 3 つの 3D マッピングストーリーをご紹介します。考古学と AI の融合で海事遺産の保護を支援

サウサンプトン大学が国立海軍博物館と共同で、トラファルガーの海戦で有名な軍艦である HMS ビクトリー号の復元

- オーストラリアの連邦科学産業研究機構が国際宇宙ステーションで使用
- サンゴ礁は、地球上で最も美しい自然発生空間の一つであるだけでなく、野生生物が気候変動によってどのように影響を受けるか、



## 3D 技術ニュース

- [The Future of Design Is Here with AI in Vectorworks 2024 Update 4](#)  
Vectorworks 2024 Update 4 の AI でデザインの未来が到来



- [Marking its 40th Anniversary, Bentley Systems Announces CEO Transition Plan](#)  
創立 40 周年を記念して、Bentley Systems が CEO の交代
- [NVIDIA Announces Earth Climate Digital Twin](#)  
NVIDIA、地球気候デジタルツインを発表
- [CHCNAV Unveils RS10: A Revolutionary Integrated Handheld SLAM Laser Scanner with GNSS RTK System](#)  
CHCNAV が RS10 を発表:GNSS RTK システムを搭載した革新的な統合ハンドヘルド SLAM レーザーキャナー
- [Carbonix, RIEGL, Phase One Announce First Fixed-Wing VTOL Integration of Long-Range Dual Sensor System](#)  
Carbonix、RIEGL、Phase One が長距離デュアルセンサーシステムの初の固定翼 VTOL 統合
- [Matterport and KnowHow Partner to Accelerate Worker Training and Onboarding for Digital Twin Solutions in the Restoration Sector](#)  
Matterport と KnowHow が提携して加速修復セクターにおけるデジタルツインソリューションのための労働者のトレーニング
- [Outsight Joins GATE Alliance to Expand the Horizons of Lidar and Spatial Intelligence in Airport Technology](#)  
Outsight が GATE Alliance に参加し、空港技術における LiDAR と空間インテリジェンスの視野拡大
- [Efficiency Meets Accuracy: Planitar Inc. Launches the iGUIDE RVT Add-on for 3D Modeling in Autodesk® Revit®](#)  
効率と精度の両立:Planitar Inc.が Autodesk® Revit®の 3D モデリング用の iGUIDE RVT アドオンを発表
- [HYSKY Society to co-locate with Commercial UAV Expo in 2024](#)  
HYSKY Society が 2024 年に商用 UAV Expo と共催
- [GdB Geospatial Joins SAM](#)  
GdB Geospatial が SAM に参加
- [ROK Technologies, LLC receives Esri's Collaboration Award for Exceptional Achievement at the 2024 Esri Partner Conference \(EPC\)](#)  
ROK Technologies, LLC が 2024 Esri Partner Conference (EPC) で Esri の Collaboration Award for Exceptional Achievement を受賞
- [UP42 and Geoawesomeness Unveil 2024 Report on the Adoption of Earth Observation](#)  
UP42 と Geoawesomeness 地球観測の採用に関する 2024 年レポートを発表
- [RSK Group supports company growth with enterprise GIS from Esri UK](#)  
RSK Group は、Esri UK のエンタープライズ GIS で企業の成長をサポート
- [Trimble and Radiodetection Combine Survey-Grade Positioning with Underground Utilities Locating Measurement Workflows](#)  
Trimble と Radiodetection は、測量グレードの測位と地下設備の測位測定ワークフロー組合わせ



Lidar & Geospatial Newsletter

高度衛星データを水系デジタルツインに活用

[Harnessing advanced satellite data for a hydrological digital twin](#)



気候変動の影響を受ける水循環系に関する対策と意思決定を行うために、シミュレーション用のデジタルツインを作成している。これは、*Frontiers* 誌に掲載された研究論文「*A Digital Twin of the terrestrial water cycle: a glimpse into the future through high-resolution Earth observations*」のテーマである。



## National Surveyors Week : 次世代に受け継ぐ業界の強み

[National Surveyors Week highlights industry strengths to be passed on to the next generation](#)

業界は人手不足に直面しており、この職業で働くことの肯定的な点をすべて伝える必要がある。



## Wingtra: ドローン LiDAR ソリューションを発表

[Drone Tech Provider Wingtra announces Drone Lidar Solution](#)

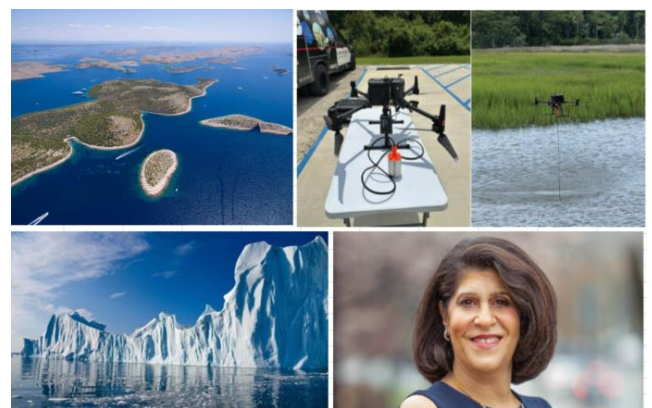
スイスを拠点とするドローン技術プロバイダーの Wingtra は、市場に新たなレベルの使いやすさと効率性を提供することを目的とした [Hesai XT32M2X スキャナー](#) を組み合わせた [ドローン LiDAR ソリューション](#) Wingtra LIDAR を発表した。



## LIDAR および地理空間産業周辺:地形測量、気候モデル、業界の現状

[Around the Lidar and Geospatial Industries: Topobathymetric Surveying, Climate Models, State of the Industry](#)

気候モデリングのための研究、Esta Geraghty 博士など業界関係者へのインタビューに焦点  
地形測量技術の最新動向と、それが水循環系の分への影響と検証



COMMERCIAL  
UAV NEWS

## エネルギー・公益事業における箱入りドローン

[Drone in a Box Solutions for Energy & Utilities: What are the Options?](#)

DiaB (Drone in a Box) ソリューションは、太陽光発電所、パイプライン、ダム、水力発電、ガス発電所、



送電網変電所などの BVLOS 運用に使用されている。

#### Exabotix

ドイツを拠点とするドローンの開発・製造・販売を行う [Exabotix](#) は、完全なリモートコントロールが可能で、ドックから約 43 マイルまで飛行できる。



#### DJI ドック

テキサス州の 181MWdc の太陽光発電所で画期的な検査

#### ロケット DNA

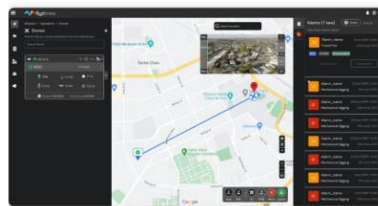
AI を使用して運用ワークフローを自動化

#### FlytBase(フライトベース)

アルゼンチンを拠点

#### H3 ダイナミクス

あらゆる規模の太陽光発電所の建設と監視に焦点



## テラドローン : Aloft Technologies に投資し、UTM、UAM、eVTOLS

### [Terra Drone's investment in Aloft Technologies set to unleash the potential of UTM, UAM, eVTOLS and beyond](#)

Terra Drone は、世界規模での UTM(無人交通管理)エコシステムの発展にさらに貢献。長期的には、UTM はドローン業界に革命を起こすだけでなく、eVTOL(電動垂直離着陸機)やドローン配送サービスの統合など、UAM の取り組みを促進する上で極めて重要な役割を果たすと期待。



## 無人航空機産業はまだ黎明期、今後の成長に期待

### [The Uncrewed Aviation Industry is Still in its Infancy](#)

話題は多いが、長期的な実行可能性、収益性、主流の受け入れという点で、実ビジネスが急成長しているわけではない。米国には Part 107 があり、連邦航空局(FAA)は、業界が Part 108 と名付けた目視外飛行(BVLOS)に関する規則制定案の通知(NPRM)に取り組んでいる。実際のドローンが全国に荷物を配達するのはおそらく数年先になるであろう。



## アリーナの Markus Fleckenstein との会話

### [Special Edition Podcast with Arena's Markus Fleckenstein](#)

商用 UAV ニュースの記事番号 350 をマークし、成熟に向けて大きな進歩を遂げているが、実際にはまだ初期段階にあり、過去 11 年間で振り返る時が来ました。

Arena のソリューションコンサルティングディレクターである Markus Fleckenstein と対談した。[製品ライフサイクル管理\(PLM\)システムがサプライチェーンにどのような革命をもたらしているか、語った。](#)



## 公共安全用ドローン運用におけるトップ5のトレンド

### Top 5 Trends in Public Safety Drone Operations

第2回全国公安 UAS 会議に、600 人以上の公安および関連業界の専門家が集まりました。[商用 UAV エキスパート](#)の主要パートナーである[非営利団体 DRONERESPONDERS](#)が主導し、議論が行われた。

#### トレンド#1:ファーストレスポンスとしてのドローン

911 ディスパッチシステムに統合することで、緊急対応体制に革命をもたらした。ライブ 911 機能を搭載したドローンは、着信に即座に応答できる。パイロットが準備万端の状態で作機しているため、ドローンは着信から数秒以内に離陸し、多くの場合、数秒以内に現場に到着できる。

#### トレンド#2 – 箱入りドローン (Drone in a Box)

DIB は、高度な自己完結型着陸ステーションから自律型無人航空機(UAV)を発射および回収する画期的なアプローチであり、多くの業界で安全性と効率を大幅に向上させ、カバレッジエリアを拡大し、データ分析機能を強化した。

#### トレンド#3: 権限制度改訂

DFR 専用の SGI フォーム「DFR SGI for TFR」を開発した。このフォームは、すでに低高度認証および通知機能(LAANC)承認機能を備えている B4UFLY アプリに接続され、FAA がデジタル形式で SGI 承認を迅速に提供できるようになった。

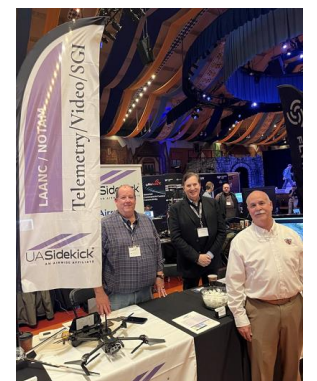
#### トレンド#4 - ドローン対抗 高性能リモート ID 必要

ドローンの脅威と対ドローンの技術や手法は進化し続けている。準備する最善の方法は、両方に関する知識ベースを構築するである。

RID の詳細については、ブログ記事「[Remote ID Myths: Busted!](#)」参照

#### トレンド #5 統合とパートナーシップ

ドローン業界のいたるところで見られるように、人々是一緒に物事を行うことで繁栄する。ドローン、ロボティクス、イネーブリングテクノロジーの企業は、公共の安全に貢献することに重点を置き、より包括的で統合されたソリューションを提供するために協力し始めている。



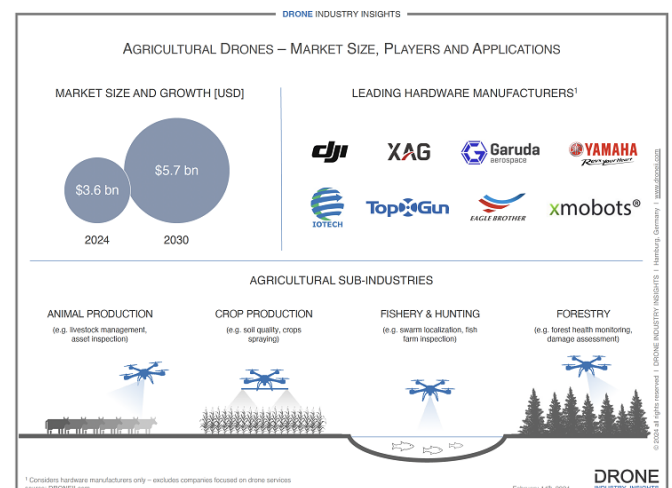
## 農業におけるドローンの隆盛

### The Flourishing of Drones in Agriculture

農業用ドローン市場は、すでにドローン技術のリーダーであるだけでなく、大幅な成長が見込まれている。

ドローンは農業に革命をもたらし、作物農業、家畜管理、漁業、狩猟、林業などの多様なサブ産業に比類のないメリットをもたらしている。

**DRONE**  
INDUSTRY INSIGHTS





## DoorDash と Wing : ドローン配送パイロット

### [DoorDash and Wing Announce Drone D](#)

[DoorDash](#) と [Wing](#) は、バージニア州クリスチャンズバーグを皮切りに、米国でのドローン配送パートナーシップの開始を発表した。

2022 年にオーストラリアで開始したドローン配送のパイロットプログラムに続くもので、その後、クイーンズランド州の 3 か所に拡大し、60 以上の加盟店が参加しており、Wing がドローン配送サービスを他のマーケットプレイスに統合したのは初めてである。



## BRINC : 統合ドローン運用プラットフォーム「LiveOps」を発表

### [BRINC Announces Its Unified Drone Operations Platform: LiveOps](#)

米国の公共安全向けテクノロジー開発企業である [BRINC](#) は、最新のブラウザからアクセスでき、公共安全ドローンの運用における調整、効率、有効性を強化した BRINC LiveOps を発表した。

- ・ライブストリーミングとリアルタイムマップ
- ・通話の発信と録音
- ・BRINC Vault Evidence & Data Storage
- ・チーム&フリート管理
- ・安全



## DJI Dock 2 : ドローン自動操作一段と進展

### [DJI Dock 2 Elevates Automatic Drone Operations to New Heights](#)

[DJI](#) は、[DJI Dock 2](#) を世界市場に投入する。専用設計の DJI Matrice 3D/3TD ドローンを搭載したこの軽量の「箱入りドローン」は、費用対効果が高く、設置と展開が簡単です。DJI FlightHub 2 と互換性があり、自動化された空中ミッションをクラウドベースの操作で管理および監視できます。強力なエンドツーエンドのエンタープライズソリューションである DJI Dock 2 は、測量、検査、資産管理、セキュリティなどの日常業務を合理化できる。

#### Dock 2 の特徴

- ・導入が簡単で軽量の設計
- ・迅速な導入
- ・極端な気象条件
- ・安定した費用対効果の高いリモート操作
- ・緊急時でも最低限のサポート

Matrice 3D は、自動マッピングと測量ミッション用

Matrice 3TD は、セキュリティおよび検査業務用

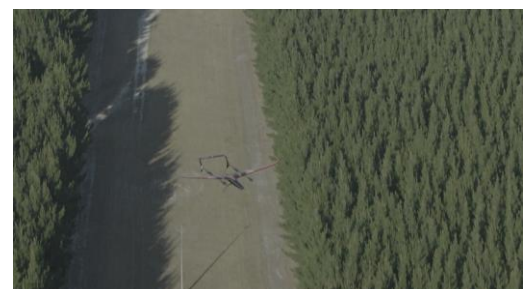


## Carbonix : 南オーストラリア州で 150km 以上の送電線検査を実施 オーストラリア初の CASA 承認の BVLOS

### [Carbonix lead Australian-first, CASA-approved BVLOS flight](#)

150km 以上の送電線をワンホップで検査し、オーストラリア初であり、南オーストラリア州の地域の電力信頼性を確保するための重要な一歩を踏み出した。オーストラリアのように遠隔地の人口が多い国では、送電線の検査とメンテナンスが大きな課題である。

従来の有人航空機(ヘリコプターや軽飛行機)や地上要員によって行っているのに比べて運用コストを最大 80%削減できる。



## ハンブルク：都市型ドローン交通管理のパイオニア

### [Hamburg is Pioneering Urban Drone Traffic Management](#)

[BLU-Space](#) プロジェクトは、ドイツで無人ドローンのトラフィックを管理するためのシステムを開発している。その目的は、航空交通データをさまざまなソースやプラットフォームからのデータと初めて実際の条件下で統合し、全体的な青写真を作成することで、安全で経済的なエアモビリティに大きく貢献することが期待される。



## Eve Air Mobility：Vector 紹介と都市型 ATM ソフトウェア開発

### [Eve Air Mobility Presents Vector](#)

現在および将来の Advanced Air Mobility(AAM)運用における固有の航空交通およびネットワーク管理と安全の課題に対処する。

Eve は、早ければ 2026 年に最初の納入とサービス開始を予定している。



## EHang：筑波に日本初の UAM センター

### [EHang Announces Japan's First UAM Center in Tsukuba](#)

[EHang Holdings Limited](#) は、茨城県つくば市に日本初の UAM センターを設立し、EH216-S を含む EHang のさまざまな無人電動垂直離着陸機(「eVTOL」の実証飛行場、地上インフラ、メンテナンス拠点として機能させる。



## CTPN：都市部のドローン脅威への備え警鐘

### [CTPN reports on urban area drone threat](#)

テロ対策ネットワーク(CTPN)の新しい報告書で、公的機関は、無人航空機システム(UAS)によるますます複雑化する脅威に備える必要があると指摘。また、敵対的な無人機は、着陸時に作動する可能性のある即席爆発装置(IED)として認識する必要があると付け加えている。



## Emesent：米国製ドローンを支援

### [Emesent Supporting US-Made Drones](#)

2023 年 12 月にバイデン大統領が署名して成立した 2024 年国防権限法(NDAA)に米国安全保障ドローン法(ASDA)が盛り込まれたことで、米国政府は中国、ロシア、イラン、北朝鮮製のドローン、またはこれらの国で製造された特定の部品を使用したドローンを連邦資金で購入することが禁止された。オーストラリアの Emesent は、米国の新しい規制に対応して、高性能な Hovermap の LiDAR マッピングおよび自律技術を、米国製のドローン「Freefly Astro」に提供する契約を発表した。





## 海兵隊は、ドローン、船舶、物流のテストに「大進歩年」を期待

[Marines expect 'big year' for drone, ship and logistics testing \(c4isrnet.com\)](https://c4isrnet.com)

海兵隊の副司令官は、太平洋における**兵站上の課題**を解決するために空中ドローンと海上プラットフォームを使用する同軍の取り組みにとって「大きな年」になると予想している。

空中補給用の中型および大型の戦術型自律型ドローンを産業界と協力しており、最近では半潜水型の海上ドローンである自律型薄型船舶の実験も行っている。



### <UAS Magazine Podcast>

VantisUAS: 全国的な共有インフラストラクチャへの道を切り開く



## オクラホマ州のチョクトー族が研究開発を前進

CNO は、新興の航空および関連技術に焦点を当て、主要な利害関係者と協力して、オクラホマ州デュラントに、航空技術の実世界での運用のための画期的な研究、開発、テスト、評価(RDT&E)複合施設とサンドボックスの作成を開拓した。

チョクトー族は、1830 年代に荒野に強制的に移動させられた。米国政府は、そうした歴史から、チョクトー族に特別の発展支援政策を続けている。



### <Dawn of Autonomy, Episode 13>

Wildlife Drones の創設者兼 CEO 兼チーフリモートパイロットであり、主要な保全生態学者であるデビー・サンダース博士を特集。無線テレメトリデータを収集するための費用対効果の高いソリューションを提供し、チームが困難な地形でタグ付けされた動物をリアルタイムで特定できるようにした。





## 大統領選挙中のウクライナのドローン募金活動への寄付者の 50%以上がロシア人 Over 50% of Donors for Ukraine's Drone Fundraiser During Presidential Election Were Russian

偵察用ドローンを購入するための最近の募金活動で、ロシア人が主要な支援者の一人だったと述べた。寄付金は、3月15日から17日にかけて行われたロシア大統領選挙の期間中に行われたもので、政権への不満を表明するためのものだったとみられる。



## ハンブルクのパイオニアが都市ドローンの交通管理

### Hamburg Pioneers Urban Drone Traffic Management

BLU-Space 計画は、ドイツで無人ドローンのトラフィックを管理するためのシステムを開発している。連邦デジタル運輸省から総額236万ユーロの資金提供を受けています。



## Quickstep、Carbonix Volanti ドローンの大型追加受注

### Quickstep Announces Significant Follow-On Order for Carbonix Volanti Drones

Quickstep Holdings は、オーストラリアの高度なドローン開発会社である Carbonix から、大幅な追加注文を受けた。



## 中国の科学者：空中で急速に増殖して戦術衝撃的な群ドローン

### Chinese Scientists Create Swarming Drones that Rapidly Multiply Mid-Air to Create a Tactical Shock

見たことのない新しいタイプの戦争用無人機を開発。

一見すると、消費者向けの中国製 DJI マルチコプターに似ている。しかし、いったん目標空域に到達すると、戦闘で何が必要かに応じて、瞬く間に2機、3機、さらには6機の小さなドローンに分裂することができる。





## Embention : eVTOL の量産に Veronte Autopilot の準備完了

### Embention Readies Veronte Autopilot for eVTOL Mass Production

**Veronte Autopilot** は、eVTOL フリート全体で大量展開するための拡張性、トレーサビリティ、信頼性を提供し、大規模な生産に備えている。



## AgEagle VAR : ギリシャ農業省に RedEdge-P マルチスペクトルセンサを販売

### AgEagle VAR Sells 50 RedEdge-P Multispectral Sensors to the Greek Ministry of Agriculture

**AgEagle Aerial Systems Inc.** は、世界中の商業および政府部門の顧客にフルスタックドローン、センサー、ソフトウェアソリューションを提供するプロバイダーである。RedEdge-P は、AgEagle の頑丈で高品質なマルチスペクトルセンサーで、高解像度のパンクロマティックバンドを搭載し、2cm(60m)のパンシャープン出力解像度を実現している。

[https://youtu.be/zWv771V\\_hbU](https://youtu.be/zWv771V_hbU)



## リサイクルと廃棄物管理におけるドローンの 5 つの用途

### 5 Uses for Drones in Recycling & Waste Management

高度なセンサーとイメージング技術を搭載するドローンは、廃棄物やリサイクル施設に重要な洞察を提供することができる。リサイクル業者の現場調査や材料量の推定などの作業に役立ち、不法投棄場所の特定、海洋廃棄物のマッピングなどにも役立つ。



## Doodle Labs : Fast Company の 2024 年の世界で最も革新的な企業に

### Doodle Labs Named to Fast Company's Annual List of the World's Most Innovative Companies of 2024

**Doodle Labs** は、**Fast Company** の 2024 年の世界で最も革新的な企業の権威あるリストに選ばれました。今年のリストは、イノベーションを通じて業界と文化を形成している企業にスポットライトを当てている。

Doodle Labs のメッシュネットワーク機器は、高度なロボット工学とコネクテッドチームのための安全で回復力のあるスケーラブルなネットワークを作成する。同社の無線機は、コネクテッドワーカーのチームによって事環境における産業グレードのドローン、自律型地上車両、高度な地上ロボットに組み込まれている。



運ばれ、商業、産業、公共安全、軍

## ボーイング MQ-28 工場：オーストラリア Queensland で着工

### Construction Starts on Boeing's MQ-28 Facility in Queensland, Australia

オーストラリア初の軍用戦闘機、MQ-28 ゴーストバットの製造をサポートする。



## DJI：米国の中国製ドローン禁止措置を回避

### DJI Trying to Bypass the US Ban of Chinese Drones

米国を拠点とする企業を登録して、別のブランド Specta Air で米国でドローンを販売しているようである。リモコンは同じで、ロゴが置き換えられただけで、DJI Fly アプリも実行される。

ドローンのリブランディングはよくあることだ。MJX や SJRC のように、エントリーレベルのドローンを製造し、リバッジして少し調整しているメーカーはたくさんある。その後、企業はそれらを Amazon または Banggood で独自の製品として販売している。



## uAvionix：FAA の Advance BVLOS 運転取得

### uAvionix Awarded FAA Contract to Advance BVLOS Operations

無人および有人航空機向けのソリューションサプライヤーである **uAvionix** は、連邦航空局の広域機関発表(BAA)契約を締結した。



## 「IED 飛行」：議会に小型ドローンが大きな問題と指摘

### 'Flying IEDs': Combatant Commanders Tell Congress Small Drones Are a Big Problem

IED (Improvised Explosive Device, ) 即席爆発装置 とは、あり合せの 爆発物 と 起爆装置 から作られた規格化されて製造されているものではない簡易手製 爆弾 の総称である

ロシアはウクライナで進行中の戦争のために、イランが設計したドローンを週に 100 機以上生産していると、米軍の最高司令官は議会に語り、小型ドローンが世界中の現代の戦争をどのように変えているかを報告した。



## 指向性空中炸裂弾頭を搭載ドローン：敵の歩兵を 60 度の弧を描いて倒せる



## A Tiny Drone With a Directional Airburst Warhead Could Mow Down Enemy Infantry in a 60-Degree Arc

<https://twitter.com/i/status/1770530849181839366> 35sec

昨年秋、ウクライナ上空に大量に出現し始めたのは、手榴弾や砲弾に空中炸裂信管を装填した小型の一人称視点ドローンだった。空中で遠隔操作で爆発し、小さな破片を広範囲に吹き飛ばす空中爆発ドローンは、通常の爆発衝撃 FPV ドローンよりも、無防備な歩兵にかつてないほど大きな危険をもたらす。

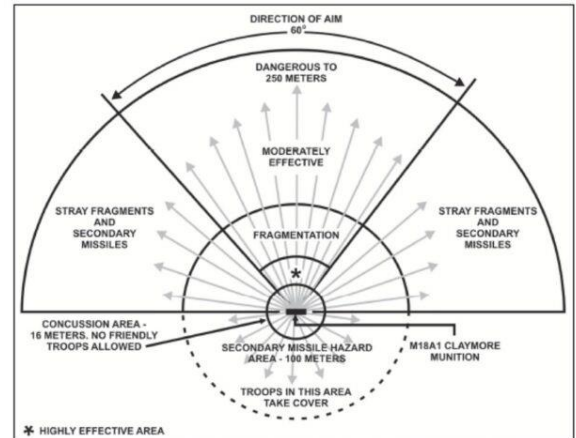
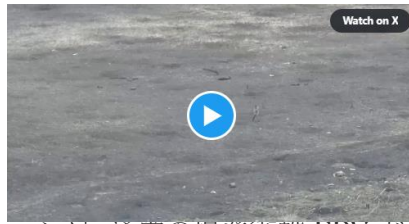


Figure 1-2. Danger radius and effects of the M18A1 claymore munition

## ベネズエラ：中国 Skyfend Technology の Hunter SHH100 ドローンキラー買収 Venezuela Acquires Chinese Skyfend Technology's Hunter SHH100 Drone Killer

ベネズエラはスカイ **フエンド**・ハンター SHH100 対ドローン装置を国軍の総合航空宇宙防衛司令部(Codai)の兵器庫に組み込んだ。中国企業 Skyfend Technology によって設計されたこのポータブルシステムは、許可されていないドローンの検出、識別、位置特定、および無力化に長けており、空中セキュリティにおける懸念の高まりに対処できる。

## AIM Defence：レーザーベース対ドローンシステムをオーストラリア国防軍に供給

### AIM Defence to Supply ADF with Australia's First Laser-Based Counter-Drone System

オーストラリア初のレーザーベースの対ドローンシステムを開発した **AIM Defence** は、オーストラリア国防軍(ADF)と契約し、世界初の展開可能な指向性エネルギー(DE)システムを構築しました。



## さよなら Warthog A-10：デモチームが最後のシーズン Farewell, Warthog: A-10 Demo Team Announces its Last Season

A-10C Warthog の地上攻撃ジェット機は、米空軍でのキャリアの終わりに近づいている。

A-10 の退役に伴い、Davis-Monthan のパイロットと整備員は F-35A ステルス戦闘機に移行する予定。



## オランダが MQ-9A の能力をアップグレード

### The Netherlands to Upgrade its MQ-9A Capabilities

The **Royal Netherlands Air Force (RNLAF)** は **General Atomics Aeronautical Systems, Inc. (GA-ASI)** と協力して、増え続ける MQ-9A 遠隔操縦航空機(RPA)の重要なアップグレードを行っている。



## Elbit : イスラエル東部で ReDrone C-UAS デモ

### Elbit Demonstrates its ReDrone C-UAS Systems in Eastern Israel

イスラエルの防衛企業 **Elbit Systems** は、ReDrone モジュール式、マルチミッション、マルチセンサーカウンター無人航空機システム(C-UAS)ソリューションの恐るべき機能を発表した。この最先端のシステムは、ドローンの脅威を効果的に検出、識別、追跡、無力化するように設計されている。



## 米空軍がホバークレーンドローン进行评估

### US Air Force to Evaluate HoverCrane Drones

商業および防衛市場向けの貨物ドローンのメーカーである **HoverCrane** は、遠征補給やその他の戦術任務での評価のために HoverCrane 無人航空機を提供する契約を米空軍と締結した。



## General Atomics : 英国 MQ-9 契約 \$53M

### General Atomics Gets \$53M MQ-9 Support Contract for UK

**General Atomics Aeronautical Systems Inc.**, MQ-9 の兵站および地上管制局のサポートのコストプラス固定料金契約。



### < 訳者コメント >

- 1)3D 業務の 3 段階 (採取、処理、表示) のうち、表示 (ビジュアライズ) の話題と技術革新が盛ん  
何せ、人間との関わりそのものだから、
- 2)水系循環の、地球規模のデジタルツイン、なるほど重要だ、
- 3)箱入りドローン (Drone in a Box)、以前から想定していた通り、急速に発展、
- 4)無人航空機産業はまだ黎明期、まだよちよち歩き、そう簡単には大きくならない、
- 5)公共安全用ドローン：日本の先進性期待したが、世界の動きのほうが発達。残念！
- 6)ドローン市場の拡大のテンポ 期待より遅いが、農業分野だけは別のようなだ。
- 7)癪であるが、ドローンの大マーケット、中国製 DJI が当然集中してくる。
- 8)人乗りドローン、これも中国製 EHang がもっとも経験豊富。日本に拠点開設。

2024-03-30 SPARJ 河村幸二